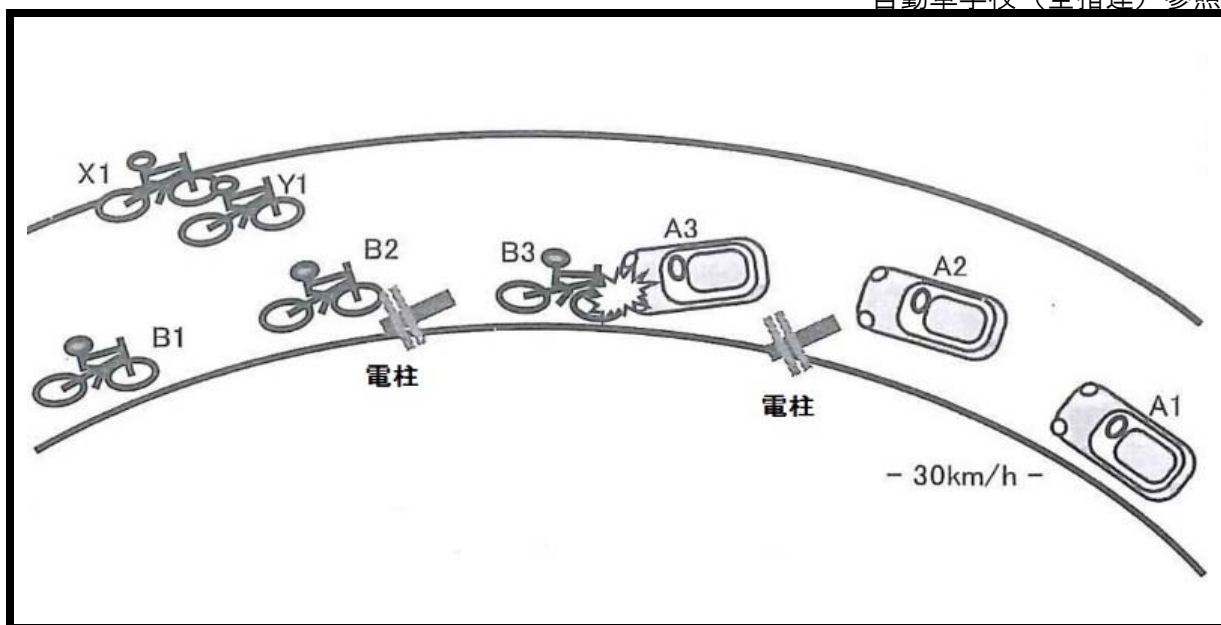


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：正面衝突

発生日時：5月 午後4時頃

当事者A：四輪車 20歳代 男性

当事者B：自転車 小学生 男性

■ 事故の概要

Aは、時々通る狭い道路を走行中、左カーブに差し掛かり、時速約40kmから時速約30kmに減速しました。ちょうどそのとき、前方道路の右側を2台の自転車X、Yが並んで向かってくるのを発見しました。このとき、B自転車はカーブ、電柱の陰になり見えませんでした。

自転車X、Yを発見したすぐ後に、道路左側に沿って向かってくるB自転車を約25m先に発見しましたが、相手も自車に気づき避けるだろうと思い特にそのまま進行しました。Aは、B車自転が進路変更しないので、急ブレーキを掛け、ハンドルを左に切って避けようとしたのですが、Bも同じ方向にハンドルを切って避けようとしたため衝突してしまいました。

一方Bは、友人2人と自転車で買い物に行く途中、友人2人は道路左側を通行していましたが、Bは右側を通行していました。右カーブに差し掛かり、カーブ、電柱の陰になりA乗用車は見えませんでした。友人自転車（X、Y）の方を見ながら走行していたところ、A乗用車が急に現われ、慌ててハンドルを右に切って避けようとしたのですが、Bと同じ方向にハンドルを切って避けようとしたA乗用車と衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

子どもでも基本的な交通ルールを守らせることは大切です。見通しの悪い交差点では一旦停止して安全を確認すること、自転車の右側通行の危険性、自転車にも一時停止義務があることなどを教える必要があります。

また、Aも、見通しの悪い道路ではさらに減速するなど注意して運転をすべきでした。